

令和8年度動物愛護週間ポスターのデザイン絵画コンクール受賞作品

○最優秀作品（環境大臣賞）今年度動物愛護週間ポスターに使用



松尾 瑠さん（福岡県在住）

◆作品に関するコメント

犬と少年のふれあいを通して、動物と人が共に生きることでの温かさや絆の大切さを表現しました。日常の何気ない時間の中にある命のつながりと、思いやりの心を伝えたいと考えました。

○優秀作品（動物愛護週間中央事実行委員会委員長賞）※50音順



貴田 和恵さん（大阪府在住）

◆作品に関するコメント

可愛い子供の時代から一緒に遊んで一緒に大人になる。ずーっと、ずーっと最後まで一緒に暮らして行こう。ゆっくり時間をかけて最後まで私達は一緒だよ



清水 優羽さん（京都府在住）

◆作品に関するコメント

私も犬を飼っているので、一緒に見ている景色が、これから先もずっと続いてほしいという思いを込めて描きました。アクリル絵の具の重ね塗りを生かし、毛並みや桜の質感を表現しています。



高宮 蒼太さん（神奈川県在住）

◆作品に関するコメント

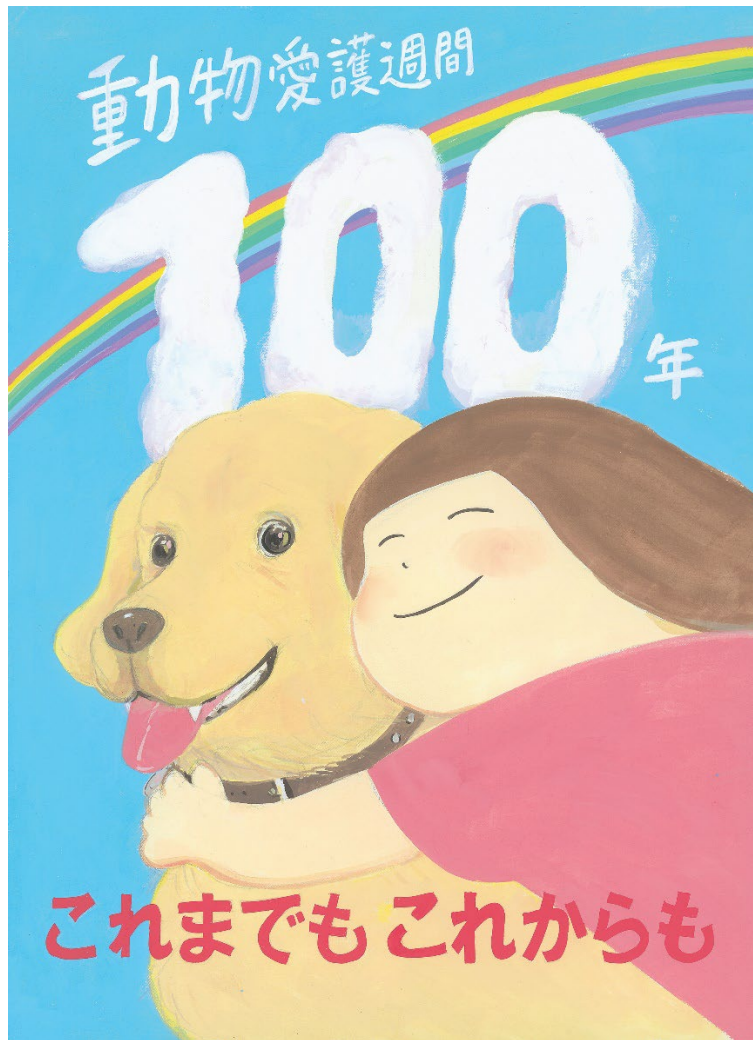
動物愛護のポスターというと犬や猫など可愛い動物をイメージします。ですがそれ以外にも意識すべき動物は沢山あると思い、描いたのがこの牛と畜産農家のポスターです。命への感謝を忘れないとともにその命を扱う仕事をしている人がいることも忘れないように、社会に何が訴えられるかを考えて描きました。



遠田 琉依さん（福井県在住）

◆作品に関するコメント

人とペットが100年先もずっといられる幸せをみすえて、こんなことができたらいいな、とかあんなことができたらいいな、なんて想像をふくらましている様子を描きました。



野崎 正博さん（鹿児島県在住）

◆作品に関するコメント

動物愛護週間100年を迎え、人と動物の温かい絆がこれまでも、これからもずっと続いてほしいという願いを込めました。大好きな犬を抱きしめる女の子の笑顔とうれしそうな犬を描いてその温かい絆を表現しました。